

まちがと

出演者は総勢240人!

文化振興協会合同発表会

2/1

幸田町文化振興協会の主催する教室の発表の場として開催している合同発表会が、町民会館のさくらホールにてMUSIC STAGEとDANCE STAGEに別れて開催されました。初めて舞台に立つ生徒も多かった中、客席からは温かい拍手が送られました。



▲少年少女合唱団



▲ストリートダンス

発展途上国の子どもの支援を

幸田ライオンズクラブ カンボジア トラキエット小学校支援ツアー出発報告

2/9



▲幸田ライオンズクラブと幸田高校生

幸田ライオンズクラブが活動の一環として行っている、カンボジアの子どもたちの学習環境の支援活動。今回は高校生にもカンボジアの現状を体験してもらいたいと参加者を募り、幸田高校の生徒5人が支援ツアーに同行することが決定。出発を前に、現地での活動内容などについて報告に訪れました。

幸田高校生たちは、現地の小学生に日本の伝統文化を通じて交流を図りたいと抱負を語ってくれました。

安全・安心なまちを目指して

安全・安心なまちづくり推進大会

2/7

町民会館つばきホールで、安全・安心なまちづくり推進大会が開催されました。交通安全、防犯および防災に対して功績があった人や団体への感謝状贈呈が行われました。また、安全・安心なまちづくり事例発表として、名古屋大学減災連携研究センターの護雅史特任教授による「地域力向上による減災ルネサンス」の講演が行われ、参加者は深溝小学校のまち歩きをはじめ、各地域での取り組みについて学びました。



▲功労者への表彰が行われました



▲活動事例発表を行った護特任教授

身近な情報を広報へ

コミュニケーションについて学ぶ

愛知大学短期大学部公開講座 2/14、21、28、3/7

全4回の連続講座で開催される愛知大学短期大学部公開講座が中央公民館のホールで開催されました。今年で21回目を迎えるこの講座。今回は「人と人をつなぐコミュニケーション」をテーマに、コミュニケーションツールの発展の中で、そもそも人と人とのコミュニケーションで大切なものは何かについて、みなさんに考えていただきました。



▲講義に聞き入る参加者



▲第1講師の森川竜哉助教

フォトニュース

プロの演技に魅了される

巡回公演事業 音楽座ミュージカル「7つの人形の恋物語Ⅱ」上演 2/18

中央小学校で巡回公演事業、音楽座ミュージカル「7つの人形の恋物語Ⅱ」が上演されました。巡回公演事業は文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館などで実演芸術の巡回公演を行うもので、子どもたちの豊かな想像力を養うことなどを目的とした事業。目の前で繰り広げられるプロの演技に、子どもたちは引き込まれていました。



▲体育館に作られた特設ステージで上演

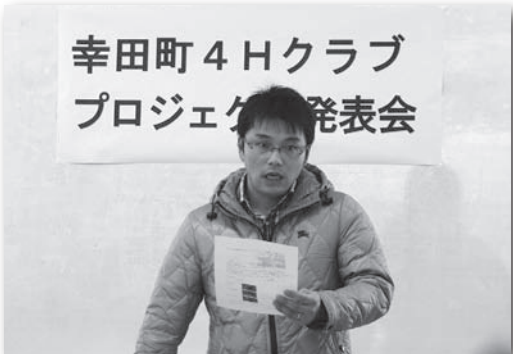


▲プロの演技に目を輝かせる児童たち

農業の未来を考える

4Hクラブ プロジェクト発表会 2/19

幸田町4Hクラブのプロジェクト発表会が幸田営農センター内の振興センターで開催されました。若手農業者の集まりである4Hクラブ。そのメンバーである飯飼正人さんが「^{いかにまさと}なすの芽摘みのタイミングによる収量と品質向上」について、^{いなよしげみつ}稲吉繁光さんが、「ミルトニア・スペクタビリスの切り花とバルブカットでの花持ち比較」について、それぞれ実験、考察した結果について発表を行い、営農センター長など審査員6人から質疑、講評を受けました。



▲発表を行う飯飼さん



▲審査員の質問に答える稲吉さん

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

消防士の熱い思いを発表

第35回西三河地区消防職員意見発表会

2/20



▲発表を行った中根消防士

2月20日に刈谷市総合文化センターで第35回西三河地区消防職員意見発表会が開催されました。幸田町消防本部からは中根義満なかねよしみつ消防士が代表として出場しました。「一步踏み込んだ心配り」と題して、救急車内で傷病者に付き添う家族の心のケアについて、熱い思いを堂々と発表しました。

3 つめの特別養護老人ホームが完成

特別養護老人ホーム メリーホーム幸田 竣工式

2/21

町内3つめの特別養護老人ホームとして完成したメリーホーム幸田の竣工式が行われました。式典には、町長、町議会議員、里区長をはじめとした地元関係者のほか、隣接した蒲郡市からも副市長などが出席されました。入居スペースが100床、デイサービス30人、ショートステイ20人の受け入れが可能。平成27年3月1日に開所となりました。



▲完成したメリーホーム幸田



▲竣工式の様子

消防指令業務の共同化を目指して

消防指令業務共同運用に関する確認書調印式

2/23

幸田町は岡崎市と消防指令業務の共同運用に関する確認書の調印式を行いました。現在、



▲岡崎市長（左）と握手を交わす町長

それぞれで実施している消防指令業務を共同運用することで、消防指令施設整備費や運用費を低く抑えるとともに、配置人員の効率化による消防体制の強化および相互応援協定に基づく応援出動体制の迅速化により、住民サービスの向上を図ることが目的。この日は、両首長が確認書を取り交わし、平成30年4月1日共同運用開始を目指します。

まちがと

身近な情報を広報へ

協力ありがとうございます

消防団協力事業所表示証交付式 2/25

幸田町では、消防団の活動に積極的に協力していただいている事業所を、消防団協力事業所として認定しています。



▲表示証を受け取る中村精機の中村専務（中央）

今年度は、多くの従業員が消防団員として入団をしている中村精機株式会社（六栗）が認定されました。

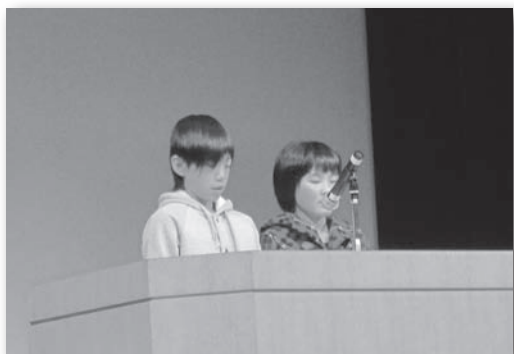
町長から表示証が交付され、消防団活動に協力し、幸田町の安全に貢献されていることに対して、感謝の言葉が伝えられました。

中村精機を含め、これまでに10の事業所が認定を受けています。

思い出つまった子ども会活動

幸田町子ども会大会 2/28

1年間の子ども会活動を振り返る子ども会大会が町民会館さくらホールで開催されました。大会では、子ども会活動の発展・育成に貢献された功労者の表彰や、子ども会書き初め展入選者の表彰が行われました。また、代表児童による体験発表も行われ、子ども会活動で学んだことや思い出に残ったことなどを発表しました。



▲代表者による子ども宣言



▲アトラクションの様子

3年間の思い出を胸に

幸田高校卒業式 2/28

第42回幸田高等学校卒業証書授与式が行われました。在校生代表からの送辞では、先輩への感謝とこれからの活躍に向けてのエールが送られ、卒業生代表の答辞では、高校生活で楽しかった思い出、つらく涙を流した経験やそれを乗り越えて得たもの、育ててくれた両親への感謝の言葉が伝えられました。卒業生225人は、幸田高校の3年間で得た経験を力に、それぞれの夢に向かって旅立ちました。



▲卒業生代表による答辞



▲卒業証書を受け取る卒業生たち

フォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
 FAX(63) 5139
 E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp